

日本女性差別事件 資料集成 20

2021年12月刊行



資生堂・アンフィニ事件資料

非正規雇用の解雇・雇止めを撤回させた
女性たちの比類なき裁判資料

I 資生堂鎌倉工場で突然の解雇と雇い止めに立ち上がる非正規雇用の女性たち

2009年5月17日資生堂鎌倉工場内で請負会社アンフィニに雇用される有期労働者22名が雇用期間途中にもかかわらず突然整理解雇されました。また整理解雇の対象には選ばれなかったものの役職を一方的に解かれ、大幅賃下げを通告された労働者2名が労働組合に加入し、会社に加え加盟した直後、「雇い止め」を理由に雇用契約を打ち切られました。解雇されたもののうち9名と雇い止めされた2名が労働組合に加盟し、資生堂・アンフィニ分会を結成し、理不尽な解雇や雇い止めは許せないと闘いに立ち上がりました。

II 仮処分申立、高裁での逆転勝利 資生堂、アンフィニ相手の本訴を提訴 たたかう体制づくりとして支援共闘会議を結成し全国規模の運動へ

2009年12月21日東京高裁は横浜地裁の決定を変更し、アンフィニによる解雇や雇い止めを無効とし、賃金の一部を支払うことを命じる決定をおこないました。2010年6月に資生堂とアンフィニを相手に地位確認等を求める裁判を横浜地裁に提訴。と同時に支援共闘会議を結成、資生堂を相手にした非正規雇用労働者を守る闘いを全国規模の運動として展開していきました。

III 東京都労働委員会で労働者側全面勝利和解

2016年1月25日東京都労働委員会で和解の合意書に資生堂、アンフィニ、争議団、全国一般労組、弁護士団が調印。合意書の内容 (1) アンフィニは解雇、雇い止めを撤回する (2) 資生堂とアンフィニは解雇・雇い止めの経緯等の本件紛争に関する事情につき遺憾の意を表明する (3) 資生堂とアンフィニは連帯して解決金を支払う。鎌倉工場が閉鎖されたこともあって、職場復帰は実現できませんでしたが非正規雇用労働者にとっては画期的な勝利和解となりました。

IV 判決文のほか裁判資料を多数掲載したほか法廷外運動資料も収録

裁判資料は判決文のほか訴状、双方の準備書面、証拠資料、原告陳述書、本人尋問調書などを網羅。また法廷外の「支援共闘会議」資料、「支援する女性の会」資料なども収録しました。

IV 原告代理人と支援者による丁寧な解題

原告代理人に事件の概要と裁判の今日的意義について丁寧に記述していただいたほか、支援共闘会議による大衆宣伝行動や株主の会の活動など法廷外の支援活動についても詳しく解説しました。

《20期収録資料概要》

22名整理解雇	2009年5月17日
2名雇止め	2009年5月31日
仮地位確認・賃金仮払い仮処分請求申立	2009年7月10日 横浜地裁
仮地位確認・賃金仮払い仮処分請求申立事件	2009年10月9日 横浜地裁決定
仮地位確認・賃金仮払い仮処分請求申立事件	2009年12月21日東京高裁決定
地位確認・賃人請求事件	2014年7月10日横浜地裁判決
東京都労働委員会に資生堂を不当労働行為の救済申立て	2015年6月12日
資生堂・アンフィニ事件	2016年1月25日都労委和解

●仕様：B5判・上製本 全8巻+別冊1

●定価：本体(250,000円+税) 分売不可
ISBN：978-4-86369-685-3

●解題：藤田温久(弁護士)

取扱店

株式会社 すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-14第二万水ビル5B
TEL. 03-5259-6060 FAX. 03-5259-6070 E-mail masato@suirensa.jp